

草履で  
さんぽ

昔ながらの風景が残る東京 人形町で  
ゆつたりゆつくりそぞろ歩き

人形町通り沿いにある商店街や甘酒横丁、七福神巡りなど魅力がいっぱいの人形町。  
三代続けてきもの好きだという深井 富美子さんと歩きます。



「大観音寺」の入口にある「百度石」。この石をなでて、ぐるりと周りをまわると百度参りをしたのと同じ効果があるといわれています。

今回の「草履でさんぽ」は、お祖母さまやお母さまがきものお召しで、幼い頃から生活の一部として親しみがあつたという深井 富美子さんです。琉球絣に、八寸なごやふくれ織の帯のコーディネート。函館の織作家加藤あいさん作のお気に入りの羽織姿で、待ち合わせ場所の人形町駅に颯爽と現れました。琉球絣の柄は、琉球の自然にあるものと生活に密着した道具類がデザインとして表され、王朝から指示された柄（御絵図）に基づいて織られているのが特徴です。

きものが似合う、下町情緒あふれる人形町周辺を、ゆつたりと散策しました。

まず、富美子さんが向かったのは東京メトロ日比谷線人形町駅からすぐそばにある「大観音寺」。明治13年に建立され、お寺の横の細道にはまだ古い井戸なども残り、きもので歩きたい趣があるエリアです。人形町といえば子宝で有名な「水天宮」をイメージする方が多いと思いますが、実はこの大観音寺も子宝のご

今月のさんぽ友だち

深井 富美子さん

出身地 岡山県

血液型 A型

趣味 能(仕舞、謡曲)

きもの歴 30年

今月のさんぽコース

東京 人形町周辺



「まゆ玉みくじ」は、まゆから一本の糸が紡がれていることから、「神様とのご縁が一本の糸のように細く長く結ばれますように」という願いが込められています。



「銭洗い」で、お金を清めて金運アップ！ 洗った小銭をお財布に入れておくと「種銭」になり、お金を増やしてくれるといわれています。



真剣な表情で「まゆ玉みくじ」を見つめる富美子さん。何が書かれていたのでしょうか。



袖を好んで着るといふ富美子さん。特に、落ち着いていて、「語るきもの」がお好きなんだとか。



歌舞伎「勸進帳」の「弁慶像」。どっしりとしていて迫力満点です。

利益があることで密かな人気がある穴場スポットです。

次に、少し日本橋方面へ歩くとある「小綱神社」を訪れた富美子さん。強運厄除と金運向上に効果があるといわれ、都内有数のパワースポットとして有名な神社です。富美子さんはこの名物である、まゆ玉の中におみくじが入っている「まゆ玉みくじ」を引きました。ころんとした可愛らしいまゆ玉に、思わずっこり。真剣な表情でおみくじを見ていた富美子さん、良いことが書いてあったようです。

最後は、昭和40年ごろまで隅田川とながっていたという浜町川の跡地の「浜町緑道」へ。まっすぐで、きれいに整備されているこの緑道は、近隣の住民や会社員の憩いの場になっています。ちょうど緑道の中心あたりにあるのが、歌舞伎「勸進帳」の「弁慶像」です。かつて中村座と市村座があった人形町は、歌舞伎発祥の地として知られ、この像が記念として建てられました。きりっとした表情で見得を切る弁慶像と一緒に、写真を撮った富美子さんは、すっかり緊張もつけて、笑顔を見せてくれました。

「私が家族の影響できものが好きになったように、3人の娘にもきものを好きになつてもらいたいんです。今回みたいなのつたりさんぽを、今度は娘たちと楽しみたいですね」と、最後にすてきなお話を聞かせてくださいました。